

9/29 五曜

コロナ関連の経営破綻

20カ月連続100件超え

商工リサーチ

新型コロナウイルス関連の経営破綻(負債1000万円以上)が9月に112件判明(22日時点)し、20カ月連続の100件超え

となったことが、東京

商工リサーチの調査で

分かりました。2020

年以降、コロナ破綻

は全国で累計4073

件(倒産3925件、

弁護士一任・準備中148件)となりまし

た。倒産集計の対象外と

なる負債1000万円

未済の小規模倒産は累

計210件判明しまし

た。この結果、負債1

000万円未済を含め

4283件に達しまし
た。コロナ破綻(負債1000万円以上)を業種別にみると、来店客の減少や休業要請などで打撃を受けた飲食業が最多で641件に及びます。次いで、工事計画見直しなどの影響を受けた建設業が462件。小売店の休業が影響したアパレル関連が301件。飲食業な

どの不振に引きずられ
た飲食料品卸売業が179件。インバウンドの需要消失や旅行・出張の自粛が影響した宿泊業が149件となっ
ています。従業員数(正社員)が判明したコロナ破綻(負債1000万円以上)は3911件あ

り、破綻に巻き込まれ
た従業員は合計3万9428人にのぼりまし
た。このうち従業員5人未満が56.4%(2206件)を占めてお
り、従業員数の少ない
小規模事業者に破綻が
集中しています。コロナ関連融資の返

期に差し掛かる一方、
円安による物価高など
で事業環境は悪化して
います。東京商工リサ
ーチは「過剰債務に陥
った企業の息切れや脱
落を中心に、コロナ破
綻は引き続き増勢をた
どる可能性が高まって
いる」と警鐘を鳴らし
ています。